

普及活動の成果

様式6(左)

課題名 : 生産・販売組織強化によるキク産地強化と経営安定 振興局名 : 県北振興局
活動対象 : 佐世保西海キク出荷組合 西海小菊部会 鹿町小菊研究会
実施期間 : 平成29年4月~平成30年3月

【対象の概要】

輪ぎく 7. 2ha 佐世保市、松浦市 小菊 2. 0ha 佐世保市

【課題設定の背景】

高齢化による生産者の減少に伴い出荷量減少しており、安定した担い手や雇用労力の確保が必要になってきた。技術面では輪ぎく産地の再編に伴い組合員の栽培技術格差が生じている。また、小菊においても、開花調節による安定供給がで確立できていない。今後のきく産地の維持・発展につなげるためには、規模拡大による産地拡大が求められている。

【活動目標】

- ・組合員の栽培技術向上を図る。
- ・補助事業等を活用した経営規模拡大を図る。
- ・計画出荷を実践するとともに出荷計画作成や県内外取引市場との連携強化を支援する。
- ・女性栽培者に対するキク経営者としてのスキルアップを図る。
- ・高齢化による出荷量減少対策として、花き法人経営志向農家（施設面積1ha以上）を育成し出荷量の維持・増加を図るとともに、それに伴う新たな地域雇用の創出等により地域活性化を図る。

【関係機関との連携（活動体制・役割分担）】

新技術導入などの技術指導については農産園芸課技術普及班の指導を仰ぎながら振興局が先導的な役割を果たし実施した。流通販売についてはJAとの連携のもと実施。生産性の向上、生産規模拡大に向けた補助事業の実態把握は市を中心にJA、県で共有。産地拡大に向けての問題意識の共有化について、地域農業振興協議会専門部会活動の一端として、連携活動をおこなった。

【活動経過】

ア 輪菊

- ・白さび病対策の現地検討会や先進地視察研修を実施するとともに、高温対策として昇温抑制効果のある散乱被覆剤及び寒冷紗を導入し各農家の経営基盤強化に向けて、計画的な支援を実施した。
- ・販売対策として、作付け計画に基づき主要な市場に出向きあるいは招き、当該出荷組合の出荷の実態、全国的な出荷の動向について意見交換を実施し出荷反省を行うとともに、今後の品種構成の検討材料とした。その上で切れ間のない夏季高品質生産のため種苗会社主催の展示会に出向き有望品種の情報入手及び導入に向けての検討を行った。

イ 小菊

- ・生産販売対策支援では、出荷計画を市場へ提示し連携強化を図った。また、各種組織活動について、「西海の小菊組合」と「鹿町小菊研究会」合同で開催を促し、ロットを増やし有利販売を目指した組織統合について協議した。併せて、組織統合を踏まえて、両組織の共通認識を図るため次年度計画について協議した。そのほか、労力不足の課題では農福連携の提案による障害者施設の作業体験会を開催した。
- ・計画出荷支援では、新たな光源としてLEDによる露地電照展示圃について、技術普及班、農技センター、農協、市場、佐世保市との連携により、展示圃を設置し、組合の検討会で各種調査結果について報告した。結果をもとに露地電照の推進及び電照効果がある新品種の導入支援などを行うとともに、気温上昇による開花遅延対策としての採花後の開花促進試験についても実証した。
- ・産地拡大支援では平戸市で新規1件の試験栽培支援を行い、併せて関係機関との推進会議や生産者への説明会を実施した。平成30年産栽培希望者3件への品種選定支援や栽培管理指導を実施した。

ウ 女性組織活動支援

- 女性組織の活動では、産地目標について理解を深め、関係機関も交えて年間の組織活動の計画作成への支援を実施。活動計画をもとにキク類の生産・販売情勢を研修するため広島の取引市場及び種苗会社の県外視察を実施し、視察後、報告会と今後の活動について検討を行った。

【普及活動の成果】

ア 輪ぎく

- 4月～12月末では市の補助事業を活用した耐暑対策が5戸においてなされ、品質の向上、出荷遅延の抑制に効果があり、夏季出荷の安定が図れた。販売実績では前年同時期の系統出荷数量183,210本(前年対比97.9%)販売額で79,336,825円(前年対比90.7%)であった。長期にわたる全国的な価格不振があり、一時的に影響があった以外は安定高価での取引ができ、販売単価67,1円(前年対比2.8%)と前年度の実績をわずかに下回るにとどめたことで生産への意欲の高揚が図れた。

イ 小菊

- 「鹿町小菊研究会」については、「西海の小菊組合」と合同での活動により、技術研鑽、意欲向上につながり、8～10月で本格的出荷に至った。次年度総会時点で統合する方向となり、「西海の小菊組合」として14名で活動することとなった。また、更なる出荷量拡大を図るため市単事業活用により6名が新品種や栽培資材の導入に取り組んだ。

＜出荷実績(5～12月)＞

西海：面積2.26ha(前年1.6ha)、568,830本(前年比143%)、18,374,204円(126%)、
単価32.3円(88%)、

鹿町：面積13a(前年9a)、26,060本、877,272円。

- 露地電照展示圃の市単事業を推進した結果3戸が新に露地電照施設を導入することとなり、展示圃調査と併せて技術支援することで需要期にむけた計画出荷が期待できる。また電照がない圃場での開花調整試験に取り組むことについて合意を得、計画的出荷や新規栽培者が取り組みやすい体制を整えていくこととなった。

- 産地拡大支援については、平戸市とJAと協議し、推進候補者を5名選定。うち、3名に対して品種の導入支援や親株管理指導、栽培管理指導を行い、栽培準備に繋げることができた。

ウ 女性組織支援

- 女性を対象として取引市場では流通過程や他産地からの着荷状況、また種苗会社では、新品種の育成状況や品種特性を学ぶ研修を実施。参加者間や関係機関との情報交換を通して、自身の経営の振り返りや意欲向上の効果もみられた。輪ぎく・小菊女性組織で活動を行い女性の立場を生かした活動に期待できる。

【対象の声】

活動目的や指導内容については理解されている。組織内の技術の平準化、若手への技術施設の伝承がうまくいくように支援してもらいたい。

【今後の課題】

- 新規導入品種への栽培指導の実施。
- 農福連携については、花き生産者間もしくは地域生産者間での円滑な活用に繋がるようコーディネートを実施する。
- 産地拡大支援では、県外出荷に向けた産地育成を目指し、品種導入や出荷体制など導入しやすい環境を整える。

【成果の活用及び普及活動上の留意点】

なし

【発表・参考資料】

なし